

## 吉野町消防団教育訓練

5月14日(日)、吉野小学校で平成29年度吉野町消防団新入団員及び正副分団長訓練が開催され、今年度の新入団員21名(昨年度途中入団含む)と分団長副分団長が参加しました。

この訓練は吉野消防署の教官の指導により消防団員の土気の高揚や消防技術の向上を目的に例年行われているもので、正副分団長は主に人員報告要領を、新入団員は礼式訓練に続きホース延長の仕方や撤収する際のホースの巻き取り方法等について指導を受け、迅速に実技訓練をこなしました。

新入団員は次の方々です。

(○数字は分団・敬称略)



### 〔上市地区〕

①辻 健太郎 ②山下 淳司

### 〔吉野地区〕

①伊藤 将司 ①加島 裕和

②山口 太生 ③坂本 拓磨

④米田 一貴 ⑤榎内 孝男

⑤榎内 幸太 ⑥石田 隆弘

### 〔国栖地区〕

①東平 至 ①長谷 政和

### 〔中竜門地区〕

①阪本 龍一(昨年度途中入団)

②大谷 尚裕 ④上田 友稀

### 〔龍門地区〕

①池田 佳輝 ①松本 和季

①瀬川 勝也 ①坂上 裕一

①吉平 教泰 ②横谷 吉知

## 農業委員会建議書提出

5月22日、吉野町農業委員会は、平成29年度吉野町農業施策に関する建議書(意見書)を北岡町長に提出しまし



藤裏会長(左)、北岡町長(中央)、小泉副会長(右)

た。

これは、農業を取り巻く状況や直面する課題を踏まえ、農業者の意向を町農政に反映させることを目的としたもので、これまで農業委員会において審議した意見を、藤裏 勲会長と小泉 文夫副会長が、農業委員会を代表し北岡町長に伝え、意見交換を行いました。

農業者の高齢化や担い手不足による遊休農地の増加に加え、近年、有害鳥獣による農作物被害が増大し、農業に重大な影響を及ぼし、農地の適切な維持はますます厳しくなっている状況です。

これまでも町は防護柵の設置や猟友会による有害駆除などの対策を講じてきましたが、農地への侵入防止と個体数を減らす方策の両面から実効性のある強力な対策を講じてもらえるよう農業者の意見が届けられました。

## 5年目の木の駅

木の駅プロジェクトは平成25年に開始され、今年で5年目を迎えます。6月1日には今年度のキックオフセレモニーが吉野運動公園駐車場で行われました。

木の駅プロジェクトは森林を良好な状態に整備し、間伐材や林地残材を地域の発展と地球環境のために有効に活用することを目的に実施されています。

このプロジェクトの仕組みは、運営者である木の駅プロジェクト実行委員会が間伐材や林地残材を出材者から実勢価格より高く引き取り、山もり券と呼



松本会長(左)と北岡町長(右)の丸太カットの様子

できます。軽トラックに積載できる1m×2mの短材でも気軽に出荷できるようになることで、より多くの方が山仕事に関わる事ができ、吉野町内で地域通貨を流通させることで、地域の活性化を図ろうとするものです。

昨年2月には吉野町で第5回木の駅プロジェクトが開催され、全国から木の駅プロジェクトの仲間が集結しました。また、11月には阪南大学生の研修が行われ、学生がプロジェクトを体験するなど、全国への発信も行われています。現段階では、個人・企業・団体の寄附等を受けてシステムを運営していますが、今後は自立の循環をめざすとのことです。

